



墨東の学び

令和7年9月1日発行
都立墨東特別支援学校
校長 西岡 陽子

<報告>夏季休業中の研修

夏季休業中に全校での授業力向上研修、S部門では身体取組に関する研修会、水泳研修、摂食研修、再調理研修、医療的ケア研修、B部門ではいらか分教室、病院訪問つばさ学級合同での研修会を実施し、研鑽に努めました。いくつか取り上げて御紹介いたします。

【全校】8月20、22、29日 授業力向上研修

3日間に分けて、本校外部専門員（学習指導アドバイザー）の宮城武久先生、宇川和子先生を招いて「延滞の学習」の指導方法についての講義・演習を行いました。受講者同士でペアになり、指導者役、子供役を交代で繰り返し体験することで、手順を理解するだけでなく、子供の視点を体感しながら呈示の距離やタイミングといった指導の基礎的事項を改めて確認することができました。常に子供の視線を確認することや、できた時に心から褒めることなどは、「延滞の学習」に限らず、どの学習においても重要です。ここで学んだことを2学期以降の授業に生かして参ります。また、5名の保護者の方にも御参加いただき、ありがとうございました。



【S】7月30日 スイッチ教材制作講座

20 数名の教員が参加し、スイッチ教材製作講座を実施しました。NPO 法人「おおきなき」の相澤先生、渡邊先生、熊谷先生を講師にお招きし、慣れないはんだごてを使いながら、棒型スイッチや振動スイッチ、音声出力装置など多様な教材を製作しました。また、電動玩具の改造やタブレット端末をスイッチ操作する機器に挑戦する教員もあり、講師の丁寧な指導のもと、集中して取り組み、次々と教材を完成させました。完成した教材は、



2 学期以降の授業や墨東祭での活用が期待されます。夏季休業中にじっくりと教材製作に取り組む貴重な機会となりました。

【B】7月28日、8月18日 合同研修会

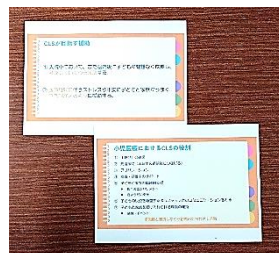
・「病院内での子どもと保護者との関わりについて

～チャイルド・ライフ・スペシャリストの視点から～

講師：聖路加国際病院こども医療支援室

チャイルド・ライフ・スペシャリスト 三浦絵莉子先生

三浦先生は、本校の訪問先病院のスタッフであり、普段から連携をさせていただいています。「チャイルド・ライフ・スペシャリスト（CLS）」とは、「医療環境にある子どもや家族に心理社会的支援を提供し、『こども・家族中心医療を』目指している専門職」で、日本では 50 人位とのことでした。研修会では、入院したことによる子供たちや保護者の状況や気持ち、CLS の役割、学校との連携などについてお話をいただきました。御講義の後、活発に意見交換を行い、三浦先生の言葉にあったように、「教員とCLSは子供の育ちを支える異なる立場の味方」「一緒に最適な支援を考えられるサポーター」として、多職種連携の必要性や大切さを実感できた研修会でした。



・「病弱教育のきほん

～病院内で学ぶ子どもたちと共に～

講師：筑波大学附属学校教育局特任教授 萩庭圭子先生

病弱教育の意義や遠隔授業、高校生支援など幅広い内容について、文科省の資料や支援冊子などを提示していただきながら病弱教育の専門性について丁寧に御講義くださり、時間が足りないほどでした。制限のある環境の中で体験することの必要性や、夢を叶えるために必要な力など、改めて自身を振り返りながら考えることができ、心の持ち方や子供に接するスタンスなどを学ぶことができました。「病院の中の学校は『安心』のよりどころ」となるように、今後の実践に生かしていきます。



きれいプロジェクトについて

本校では令和5年度よりきれいプロジェクトを行っています。本プロジェクトの目的は、児童・生徒の教育環境、教職員の職場環境の改善にあります。

3年目である今年度は、「①消耗品等の保管場所を整理して、在庫状況を把握しやすくする。②収納スペースを確保し、物品を整理する。」ことを目的に行いました。2年間で手付かずだった倉庫の整理、様々な物品があふれかえっている倉庫、教材の保管場所の整理を中心に行いました。倉庫を整理することで、消耗品等の保有状況が分かりやすくなるとともに、物品が取り出しやすくなりました。今年度はハード面だけでなく、さらにソフト面でも整理、合理化を進めてまいります。



【報告】スクールバス門を改修しました！

校舎の「顔」ともいえる正門（スクールバス用門）が新しくなりました！以前から、門扉の開閉がしづらく、車で来校され方々にも御迷惑をおかけしていましたが、夏季休業期間中に工事を行い、軽く動かしやすい門扉への付け替えを行いました。校舎内への関係外の人物の立ち入りによる事件が起きるなど、学校での安全管理の徹底が求められているところです。これまでは、扉が固く、開閉に苦勞するため一定時間開け放していたこともありましたが、今後は、外につながる扉はその都度開閉し、校内の一層の安全管理に努めてまいります。

本校の歴史と共に歩んできた校舎も、間もなく40年を迎えます。40周年に向けて必要な修繕を加えながら「学び舎」としての環境を整えていきます。



部活動の活躍（CIAOカップ、選抜甲子園）

夏季休業期間中も部活動の生徒たちは大会で全力を尽くしました。

●7月26日(土)第2回ボッチャCIAOカップ

12名の生徒が3チームに分かれて参加しました。試合では、互いに助け合い、ボールの軌道を考えながら取り組む様子が見られました。会場の熱気に、緊張する生徒もいたようですが、成功の喜びを仲間と共に味わう姿に、生徒たちの成長ぶりを実感できました。

●8月7日(木)第10回全国ボッチャ選抜甲子園決勝大会

「墨東旋風 Kids」の4名は、予選を勝ち抜き初の全国大会出場を果たしました！

決勝は、全国から16チーム出場し、トーナメント方式で試合を行いました。

初出場・初戦の緊張もあった中、第1試合では3対0で福岡県のチームを下し、初勝利を味わいました。第2試合の大阪のチームとは引き分けとなり、その後のタイブレークで惜しくも敗退となりましたが、全国の強豪校と対戦する経験は、生徒たちにとって大きな自信につながったことでしょう。初出場ながらも堂々とした試合展開ぶりに、日々の練習に真摯に取り組んだ成果が見られました。チームの皆さん、ベスト8おめでとうございます！当日応援に来てくださった生徒や保護者の皆様、ありがとうございます。この後のCACカップ(9月20日土曜日)も御声援をお願いいたします。



【全校】8月28日 総合防災訓練

8月28日(木)に、教職員や保護者、地域関係者を対象に総合防災訓練を実施しました。この訓練の目的は、学校が様々な機関と連携し、災害の備えを強化することや、教職員等が実践的な体験活動や専門的な知識を習得し、災害発生時において的確な判断力と対応力を養うことです。

今年度はNPO法人プラス・アーツやトヨタモビリティ東京、深川消防署の御協力をいただき、5つの訓練を設定し、実施いたしました。講演から実践的な体験まで、災害に対して幅広く対応できるような訓練内容になっています。今後も、学校は防災についての準備や訓練等を計画的に取り組み、引き続き児童・生徒が安全に、安心して学校生活を送れるようにします。今回は、訓練内容の一部を紹介します。



トヨタモビリティ東京
「車両からの電源供給」



深川消防署森下出張所
「煙ハウス」

引き続き熱中症に御注意ください！

東京では、8月下旬から10日間連続の猛暑日となり、過去最高の暑さだった2022年を上回りました。気象庁の予報によると、この暑さは10月末まで続く見込みとのことです。学校では、夏季休業中に空調設備の点検や清掃を行いました。引き続き室温管理や定期的な水分摂取に留意し、熱中症対策を行ってまいります。2学期も登下校や外出の際の暑さ対策をお願いします。